



第70回全日本実業団対抗駅伝競走大会(ニューイヤー駅伝2026)が1月1日(元旦)に開催されました。総合順位は12位と目標としていた6位には届きませんでしたが、選手全員の粘り強い走りで一時は7位まで浮上するなど今後につながる場面もあり、チームが確実に前進していると感じさせるレースでした。

個人レースでは、合田棕選手が11月22日(土)に開催された2025八王子ロングディスタンスの10000mで27分48秒22の安川電機陸上部歴代最高記録(以降、安川新記録)を更新。さらに翌週の11月30日(日)に開催された日本体育大学長距離競技

会でも5000mで13分29秒41の安川新記録をマークするなどスピード力に磨きがかかり、チームの頼もしいエース格に成長しました。

12月7日(日)開催の第50回熊本甲佐10マイル公認ロードレース記念大会では、主将の古賀淳紫選手が46分12秒で5位入賞、ルーキーの阿部選手は12位ながら46分25秒の好記録をマークするなど大きな収穫を得ました。

今後も良い結果を届けられるよう精一杯精進してまいります。引き続き選手の応援よろしくお祈りします。



ニューイヤー駅伝で7位まで順位を引き上げた九嶋恵舜選手



熊本甲佐10マイル公認ロードレース記念大会で好走した阿部陽樹選手

5000m、10000mの安川記録を更新した合田棕選手



選手コメント

合田 棕

前半シーズンは冬場のケガの影響で苦しみましたが、秋口から調子を上げることができました。特にトラックレースでは2種目で自己記録を更新できたことは大きな自信につながっています。

今後は日本トップレベルで戦う覚悟を持って競技に邁進します。